

第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立和泉総合高等学校
校長名	松下 聡司

開催日時	令和 7年 6月 6日(金)14:00～16:00
開催場所	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム
出席者(委員)	山内会長・上條副会長・加島委員・大野委員・木村委員・磯崎委員
出席者(学校)	松下校長・南事務部長・岡崎教頭・徳増教頭・舘首席・小谷内生徒支援部主事 中津教務部主事・中村進路支援部主事・河内教諭・上田教諭・谷上教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、令和7年度学校計画等
備考	

議題等(次第順)

- 開会の辞
参加者の自己紹介(教職員・委員)
- 校長挨拶
委員のみなさまと信頼関係を築き、今後の学校運営に活かしたい
入学生徒確保に向け、本校の魅力・特色づくりに取り組みたい
- 学校の状況報告
 - ①学校経営計画について(校長より)
令和6年度の評価について報告、令和7年度の計画について説明
 - ②進路状況について(進路支援部より)
 - ③生徒状況について(生徒支援部より)
 - ④教務について(教務部より)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①学校経営計画について
 - ・山内会長:通級指導に関して、他校通級が今年度から始まるということで、和泉総合での取組みが教育庁からも高く評価されている証拠。今後も府のトップランナーとして活躍を期待している。
 - ・上條副会長:進級率の低下については、その要因を丁寧に検証する必要がある。定員割れを防ぐためにも、学校の魅力を向上させる取組みが必須である。
 - ・木村委員:学力保障に関する教職員の価値観を共有することが重要。校内研修などの機会を通じてその意識を高めていくべきではないか。
 - ・加島委員:進路決定率の高さは和泉総合の大きな強みであり、積極的にPRすべき。また、働き方改革については、思い切ったスクラップアンドビルドの視点も必要ではないか。
 - ・磯崎委員:基礎学力の定着や個別支援の観点から、通級指導教室はありがたい制度である。
- ②進路・生徒支援・教務について
 - ・山内会長:掲示物、机の並び方など、教室環境についての配慮は十分行き届いている。次回の学校運営協議会日には授業見学をしたい。
 - ・大野委員:生徒支援部の取組み内容を、授業改善や学力向上にどうつなげるかが課題。生徒が「学び方を学ぶ」授業の工夫が求められる。
 - ・上條副会長:「生徒指導部」から「生徒支援部」に変わったこともあり、3年間の学校生活の計画を練り、生徒と伴走する形で頑張ってもらいたい。
 - ・加島委員:資格取得を通して「学びの先にあるメリット」を生徒に提示することで、学校生活における目標意識を高められるのではないか。
 - ・大野委員:資格取得が自己成長につながるという点を、生徒が論理的に理解できるような説明や導入が必要。
 - ・木村委員:生徒に自己選択・自己決定の機会を意識的に設けることが重要である。
 - ・磯崎委員:資格取得のための補習は、意欲ある生徒にとって有意義だが、十分に活用しない生徒も一部いるとのことで、もったいなく感じる。

次回の会議日程

日時	令和 7年 11月 14日(金)14:00～
会場	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム